

主要施策の内容

総額 4,208億1,732万円

■ 第一 豊かな生活を保障する基盤整備

■ 第二 活力のある産業の振興

■ 第三 健康で生きがいのある
福祉社会の実現

■ 第四 未来を担う人材の養成と
郷土文化の振興

(注)

☆……新規事業

★……継続事業

☆……一部新規の含まれる事業

を調査します。

また、県内中小企業の公害防止施設整備事業に対する助成については、融資限度額を一企業あたり千五百万円から二千万円に引き上げ、制度の充実を図ります。

消費者対策については、消費者に対して情報の提供、消費者教育等の啓発活動及び苦情処理を行うほか、物価対策として物価監視員、物価モニターを動員して物資の需給と価格動向の監視を行い、便乗値上げ等の防止に努めます。

交通安全対策については、県民各層の交通安全意識の啓発と安全教育の徹底を図るほか、交通安全施設整備費を増額し積極的に整備を行うとともに、免許人口の増大による狭隘化に伴い交通安全会館の増築を行うことといたしました。

防災対策については、阿蘇山の防災対策として、登山客、地域住民の生命、財産を守るため避難壕、ヘリポート等の避難施設の整備拡充を図り、更に避難訓練の実施等避難救助体制の確立を図ります。また、降灰防除、防災営農施設整備事業については、関係法令に基づき事業の推進を図るとともに、土石流の発生を防止するための治山、砂防事業を早急に実施します。

なお、消防学校の建設については、本年度は、本館、寄宿舎、屋内訓練場等の建設を予定しております。

四、勤労者福祉対策

勤労者福祉対策については、まず、雇用環境の整備充実対策として、中小企業従業員住宅を建設し、勤労者の福祉向上に資するほか、菊池市が建設を予定しております勤労青少年ホームの建設費の一部を助成します。

また、公共職業安定所に中高年齢層雇用開発推進員を新しく設置するとともに、心身障害者の雇用促進を図るため、心身障害者職場カウンセラーを増員するほか、大学卒業生の地元就職志向に鑑み県内企業への就職あっせんを図るため、熊本公共職業安定所内に大学生等職業相

談コーナーを設けることとしました。

次に、職業訓練対策としては、中高年齢層の再就職を容易にするため、委託訓練の実施を拡大するほか、本年度から単位制(モジュール)訓練を導入するとともに、心身共に健全な若い技術者の育成を図るため、熊本高等職業訓練校に体育館を建設します。

勤労者金融対策については、熊本県勤労者信用基金協会に所要の融資及び出捐を行うほか、持家制度の促進を図るため、熊本県勤労者生活協同組合に低利の貸付を行います。

未来を担う人材の養成と郷土文化の振興

一、教育の振興

学校教育の充実については、県立学校校舎の増改築、教育近代化設備の整備を更に促進し教育環境の改善に努めます。

また、教職員の資質の向上を図るために海外研修を含めた各種の研修を拡充するほか、学力向上対策にも力を入れま

す。私学の振興助成については、学校経営の健全性を高め魅力ある学校教育が推進されるよう助成費として三十六億七千九

百二十四万九千円を計上しました。

社会教育の推進については、コミュニティカレッジ講座、高齢者大学講座を引き続き開講するとともに、高齢者の人材活用事業等生涯教育の推進を図ります。

また、地域住民の連帯と協調を深めるコミュニティづくり活動の拠点となる地区集会所の整備促進を図ります。

更に、県立女子大学の施設を利用して婦人のための婦人大学講座を開設するとともに国際的視野に立つ婦人の育成をめざして海外研修を行います。

二、スポーツレクリエーション活動の推進

スポーツレクリエーション活動の推進については、県民が健康で豊かな郷土づくりを展開し、スポーツに親しむ機会を与えるために、県民総スポーツ運動を強力に推進するとともに、中・高校生のスポーツ活動対策、更には国体や全国大会での上位入賞をめざして、スポーツ選手強化対策を積極的にを行います。

また、県立総合体育館の建設については、本年度から三か年で建設することと

三、文化の振興

郷土文化の振興については、県民が広く芸術文化に接する機会を多くするため、県移動芸術祭等地域における芸術文化活動の一層の促進を図るとともに、郷土の歴史的遺産の保護活用にも意を用い、菊池川流域における「風土記の丘」建設についての基本構想を策定するほか、鞠智城跡の総合調査等を行います。

また、地域の文化開発の拠点となる県民文化センターの建設については、五十五年度内に着工したいと考えております。なお、完成は五十七年度を予定しております。